

## ■2020年11月6日（金）「代表取締役社長の異動（辞任・就任）に関する記者会見」議事録

### ・株式会社アルビレックス新潟 代表取締役社長 中野幸夫より経緯説明

お忙しい中、お集まりいただき、どうもありがとうございます。いろいろとお騒がせしてすみません。改めまして、お詫びを申し上げます。すみません。

これから説明をさせていただきますので、恐縮ですが、着席させていただきます。

本日お伝えしたことが二つあります。

1点目は、今日午前9時より臨時取締役会が行われました。その席で、社長である是永大輔より、代表取締役社長の辞任の申し出がありました。代表取締役社長の辞任と、12月末をもって取締役を辞任したいという申し出です。取締役会はこれを受けまして、後任人事に入りました。そして、私、中野が代表取締役社長に就任いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

2点目は、Jリーグより懲罰が下されました。内容は二つございます。一つ目は、罰金300万円、それから、けん責という二つの懲罰です。罰金300万円につきましては、指導監督義務違反、それから、けん責は報告義務違反という懲罰でございます。

まずは、この2点を報告させていただきます。

続きまして、この2点について詳細な説明をさせていただきます。まず、1点目は前社長の是永大輔の辞任の弁でございます。お手元の資料にもありますが、本人の弁を述べさせていただきます。

「今回の一連の騒動によりご迷惑をおかけしたすべてのみなさま、大変申し訳ありません。心よりお詫び申し上げます。

2018年9月の専務就任、2019年1月の社長就任以来、クラブの価値を高めるために情熱を持って精一杯取り組んで参りましたが、今回の件では判断と対応を大きく間違えました。結果、クラブの価値を毀損してしまう事態となりました。みなさまが、そして自分自身が心から愛するアルビレックス新潟の名誉を傷つけてしまったこと、毎日、自責の念に駆られています。選手やスタッフ、社員のみなさんには何も瑕疵はございません。本当に申し訳ありません。

また、アルビレックスファミリーだけではなく、すべてのJリーグファン、サッカーファンのみなさまにも大きなご迷惑をおかけしました。恥ずかしく、情けなく、猛省しています。

記者会見でも述べさせていただいたように、今回の件は決して隠蔽を意図したものではありません。

ん。しかし、結果として誤解を招く状況に陥らせてしまったことも理解しています。何より、懲罰というＪリーグの処分を重く受け止めています。大きな責任を感じています。

世の中をこれほどお騒がせしてしまっていること、そしていま最も必要であるクラブの速やかな信頼回復のためには、自分がここから離れるべきだと考えました。

サポーターのみなさまには思い切り応援していただきたいため、またチームにはこれからの戦いに集中してもらいたいため、そしてクラブが予算編成とチーム編成など来季の準備を進めるためにも、このタイミングで辞任することとさせていただきます。

今後はいちサポーターとしてアルビレックス新潟の未来に貢献させていただきたく思っています」。

という、是永前社長の退任の弁でございます。趣旨をご理解いただけたらと思います。この弁に基づいて、辞意を表明し、任命責任のある取締役会としても、この事態を重く受け止めたところでございます。

2点目につきまして、Ｊリーグからの懲罰についてご説明を申し上げます。お手元にリリースがあるかと思いますが、私から説明させていただきます。

「違反行為1、アルビレックス新潟に所属するファビオ選手は、2020年9月17日、新潟市内で、普通自動車を酒気帯び運転した。2、同クラブは、ファビオ選手が上記行為を警察官に現認されて検挙されたことを同日知ったのに、同年10月14日まで公益社団法人日本プロサッカーリーグに報告しなかった」。

この2点が違反行為ということで懲罰を受けました。

懲罰の量定の参考とした事項について、違反行為1の酒気帯び運転に関しては、

「アルビレックス新潟は、ファビオ選手を含む外国人選手に対し、各国ごとに法規制の実情が異なることなどから外国人選手が犯しがちな飲酒運転について、これを適切に防止するために必要な指導、教育等の措置を講じていなかった」ということが、裁定の根拠でございます。

違反行為2については、「同クラブは、ファビオ選手が上記酒気帯び運転により検挙されたことを知った後、この情報を代表取締役社長、ゼネラルマネージャー及び監督の三者で共有するにとどめ、Ｊリーグに対しても直ちに報告せず、同年10月12日、外部から通報を受けたＪリーグからの確認を受けて初めて同月14日にＪリーグに報告するに至った。その結果、この間、同クラブはＪリーグによる是正の機会のないまま、独自の判断により、同選手をリーグ戦6試合に出場させることとなり、ひいてはＪリーグの信用を大きく損なうこととなった」、という報告義務違反と、

管理監督責任という二つの懲罰を受けました。

これが、皆さんに申し上げる事実関係でございます。

次は、この件に関しまして、私なりになぜこのようなことになったのか、話をさせていただきたいと思います。

今回の選手の酒気帯び運転という道路交通法違反に始まり、その対応を一か月に及び公表しなかったこと、先般の記者会見では永前社長が、皆様にお詫びと報告をさせていただいたところです。大変申し訳なく思っていますし、私も常勤の取締役としてそばにいて、サポートができなかったこと、この点につきまして、私といたしましても反省すべきところがあり、本当に申し訳なく思っています。

さて、なぜこのようなことになったのかを、私の主観を含めて話をさせていただきます。電気・ガス・水道・アルビレックスという、インフラになりたいことを掲げて活動をしてまいりました。この言葉を復唱したときに、電気・ガス・水道というインフラを維持してくださっている、いろいろな会社関係者の方々を想像しました。

おそらく、このインフラを維持し、皆様に提供していく上では、ご苦労やご努力、そして行動規範がその裏にあるのではないかと感じました。そして、私たちがインフラを目指そうという心意気は、私は間違っていないと思いますが、そうなるためのすべてが、まだ私たちには足りなかったのではないかと、深く反省しています。

私事になりますが、私が40歳の時、1996年にこの会社ができました。経験がない、財力もない、施設もない中で、地域の方々からご支援や応援をいただいて、今日のアルビレックス新潟があると思っています。私は65歳になりましたので、会社を設立して26年となります。この長い間に、8年ですがJリーグに行き、いろいろな経験をさせてもらい、新潟を留守にしましたが、時には電気・ガス・水道・アルビレックスと似たような想いもありました。

私なりの言葉で言うと、実はこのチームは本当に新潟に必要なんだろうかと、もしかしてなくてもいいのではないかと。言葉は悪いですが、もともとなかったのです。しかし、そんな何もない中で設立させてもらい、なくてもいいのかもしれないが、なくてはならないものになるために、どうしたらいいのかを考えながら、また相談しながら、皆様と想いを共有しながら今日まで来ました。

今、私どもが考えなければならないのは、先に進むのも重要ですが、創設の想いや、創設から一緒に歩んできた方々、今だからこそ、Jリーグの理念に立ち返り、そしてまた、気づかせてもらった今日をきっかけに、さらに進んでいきたいと思っています。

ここで反省させていただき、振り返らせていただき、悪いところは直します。せっかく皆様と一緒に作り上げたものを、さらに発展させるために、前に進みたいと思います。よろしくお願いいたします。

私の想いは、この後に皆様からいろいろな質問に答えたいと思います。シナリオにない言葉に移っていく感じがしますが、3回目の登場でございます。2年前に辞意を表明し、是永前社長に引き継いでいただきました。私にはない、若さとバイタリティとサッカーに対する情熱を持って、彼が指揮をとって今日まで進んでくれました。具体的には、社内のIT改革や情報共有方法、またメディアの皆様の前に自ら出て、アルビレックス新潟のために本当になんか頑張ってくれました。今回のJリーグの懲罰に至ったことについては、反省しなければいけません。本人も猛省しています。彼の短期間ではありますが、やろうとしたことや情熱は、私も感謝したいと思います。しかし、彼も記者会見で言いましたが、「判断ミス」、「対応ミス」、そこは心からお詫びをさせていただきましたので、改めましてお詫びしたいと思います。彼の真意もお汲み取りいただけたらと思います。

私の方からの、社長交代やJリーグの懲罰が下されたことについて、報告させていただきました。

## ■質疑応答

—先日の会見では是永前社長は自ら辞任について話していなかったが、この短期間で何が辞任の決定打になったのか。(新潟日報 山田)

何が決定打だったのか。私が想像して言うのか。本人が感じていることだと思いますが、何がと言われると、本人しか分からないのではないかと思います。機会があったら本人に聞いてください。

—本人でないと分からないとなると、どうしても本人に会いたいと思ってしまう。今後、日曜日にはホームゲームがあるが、是永前社長が出てくるようなことは予定されているか。(新潟日報 山田)

11月17日までは代表権を持っている取締役として残ります。それは、Jリーグの実行委員というクラブ代表がJリーグの理事会での承認事項で、それを経ないと私と交代できない案件です。それを待たずして、今回、辞意を表明したということなので。今の山田さんのご質問の、何が決定打かということ私なりに回答しますと、コメントに書いてある通り、時期の問題も含めて、Jリーグの沙汰の大きい、小さいということではなくJリーグのご沙汰が出るタイミングでということで、本人なりに時期を凶っていたと。私なりに感じています。

—今回の酒気帯び運転に関して、当初は前社長とGM、監督の三者だけが知っていたということだが、中野社長はどのタイミングで知ったのか。知った時の気持ちは。その段階で、前社長にど

**う意見をされたか。(フリーランス 大中)**

私が知ったのは、リリースが社内から出た 15 日。私も社内リリースを見て知りました。「あってはならないことが起きたな」と感じました。翌日に前社長から詳細説明を受けました。良い悪いは別として、そこに複数人の人がいた。そういう客観的な事実を聞いて、その時は細かい状況をつかみきれなかったのですが、いずれにしても、私の経験上、Jリーグに報告、相談すべき案件だと感じました。

**—中野社長は 8 年間、Jリーグに籍を置いていたが、今回の件について Jリーグ側とどのような意見交換をしたのか。(フリーランス 大中)**

Jリーグ側と意見交換はしていません。この案件については、Jリーグ側がどう判断するかということ。私は確かに (Jリーグに) いて、職員の方、規則的なことは少なくとも認識しています。私が Jリーグにいたときも、クラブとの関係性は何でも分からないこと、困ったことがあったら相談してください。あるいは、危機管理的なことがあったら、速やかに報告、相談してくださいというのが、暗黙のルールの中にもありました。ところが、昨今、いろいろな事案で、いろいろな問題が多くなった。クラブ数が多くなった点も含めて、報告義務が今年から明確に明文化されて。だから我々がどうということではなく、昨年の規約集にはないルールでした。そういう意味では、是永前社長を含め、我々もこれが明文化されたことを、これを読み直して知りました。だからと言って、報告義務がなかったということではなく、あまりにも事案が多く、Jリーグも明文化したという事情が背景にはあります。私の経験の中からは、いろいろな相談を受けながら、そういった関係性の構築も必要だったのではないかと感じています。そういう意味で、傍にいなから、そこをサポートできなかったことに対して、残念だと反省しています。

**—是永前社長は会見では、「周りから辞めろという声が多ければ辞める」と発言していたが、スポンサーなどから、そういった声はあがっていたのか。(新潟日報 山田)**

具体的な社名は思いつきませんが、私も全部を回ったわけではありませんし、今の段階では、そういった声は頂戴しておりません。しかし、スポンサー様ということで、あえて言いますと、スポンサー様が私どものこれからの判断や行動を、言葉でなく判断するのは、これからののではないかと考えています。是永前社長自ら、あるいは営業担当が説明とお詫びに各社様に行かせてもらっています。声というよりも来季の契約や、これからの関係性を各社様が今のこの時間も含めて、前社長の弁、行動を含めて、ご判断されるのではないかと考えています。

**—本日、取締役会を開いて辞任が決まったということだが、その前に取締役会は何度か開かれているのか。(新潟日報 山田)**

先回、ご報告させてもらったときに、2 人の選手の処分と社長、GM の処分を諮った取締役会から、その間はございません。

**—報告義務について、今年から明文化されていたということだが、是永前社長はこの報告義務について知っていたのか。知っていたとしても、今回のことが違反にあたらないと思っていたとい**

うことなのか。是永前社長はどういった認識だったのか。(NHK新潟 本間)

報告義務があったという認識はありませんでした。且つ、規約、規定集に明文化されていたことも、あの段階では知らなかったようです。

—報告の義務があることを知らずに、それぞれのクラブで判断するものと思ってJリーグへ報告をしていなかったということか。(NHK新潟 本間)

前回の会見でも、是永前社長自ら言っていました。事案が起きて、複数人がいて、任意捜査の段階にいたので、そこに判断をゆだねた。そうではなく別な判断をとるべきだったと反省していたと思いますが、その時の認識的には警察にゆだねて判断ができるまでは、Jリーグに報告すべきではない。結果がでないまでは。という判断をしたのではないかと考えております。

—外国籍選手への監督が不十分だったとJリーグからの処分の理由にあるが、外国籍選手へのコンプライアンス研修や指導をどのように行っていたのか。今回の件を受けて、改善する、何かを変える予定はあるか。(NHK新潟 本間)

すみません。重要な点を私が落としておりました。再発防止についてふれずに皆様のご質問に入ってしまった。今のご質問への答えも含めて、再発防止について話をさせていただきます。まず、基本的には情報の開示と法令順守と教育が重要だと思っています。対策としては、具体的に4つ。コンプライアンス対策委員会の設置。情報を早期に社外役員または監査役に報告する機能を有したコンプライアンス対策委員会を設置すること。今、申しました事は、前回、是永前社長が皆様にお伝えしていることで、重複するかもしれません。2つ目は、飲酒運転を含むコンプライアンス講習会の実施。全選手、スタッフを対象にシーズン初めに開催し、四半期ごとにコンプライアンス講習会を実施いたします。なお、新加入の選手、スタッフは講習会に加え個別の飲酒運転防止の説明をいたします。3つめ。トレーナースタッフによる選手への月一度のメンタル状況把握の実施。メンタルコンディションに不安のある選手に対しては、適切な対応ができるスタッフを配置しクラブが積極的に指導する。前回は3つの対応策でしたが、今回、私が今の状況を鑑みて、単独での実施ではなく、やはりJリーグとの連携を密にすることが非常に重要だと感じましたので、具体的な3つの防止策に加えてJリーグとの連携強化を図っていくことを対応策の一つに加えさせていただきたいと考えています。特に経験上、国の規則や文化、習慣の違いは確かにある傾向が外国籍選手にはあります。だからと言って許されることではありません。そういうことを前提に指導や対応、定期的というよりは頻繁な注意喚起。注意すれば直るのかというと、直さなければいけないのですけれども、メンタル的なストレスとか、「これくらい」という安易なことで判断する選手も過去にはいました。ですから、「そういうことが、あるんだ。起きるんだ」ということを予測しながら選手やスタッフを含めて向き合っていく必要があるのではないかと感じています。

—今日の午前中に取締役会があり、社長が交代になったが、選手には報告や説明はあったのか。(スポニチ 渡辺)

9時から約40分間の取締役会があり、その後、10時から監督、コーチ含め全選手の前で前社長と

私と二人で説明を行わさせていただきました。

**－そこで中野社長が話したことは。(スポニチ 渡辺)**

練習前でしたし、多くを語るよりは社長が代わったということと、改めて監督中心にまとまって、今後の戦いに集中してほしいとお伝え、お願いしてきました。

**－雰囲気は。(スポニチ 渡辺)**

監督は、ああいうご性格のようですので、非常にフレンドリーな感じの顔でしたが、選手たちはポーカークフェイスでいるので、あまり感情はお互いに感じなかったのではないかと考えています。

**－各クラブとも来季に向けての準備を始めていると思うが、先日、監督は来季の契約については、社長に聞いてほしいと話していた。社長が代わって状況が変わることはあるのか。(スポニチ 渡辺)**

今のご質問自体が、今なりたてで分からないので、本当に恐縮ですが、監督の話は、これから取り掛かろうと思っております。それくらい急な展開なもので、すみません。

**－これまでの流れは引き継いでいくのか。それともガラリと変えるのか。(スポニチ 渡辺)**

それも含めて強化と言いますか、作業したいと思っています。まったくそこは手付かずです。さきほど決まったことで、すみません。

**－前社長は一連の騒動を受けての引責辞任だと思うが、サポーターやいろいろなところから対応が後手後手だったと指摘があったのではないか。根本的な理由は。(BSN 堀)**

前回の記者会見でもあった通り、判断ミス、対応ミス。そこを本人も皆さんの前で謝罪していた。根本的な原因はそこだと思っております。もう一つ付け加えると、もっとJリーグに早く相談すればという空気感、そういう関係性がなかったのが悪いというのではなく、あったらこうならなかったんだろう。という状況が残念だというのが結果論としてあります。

**－信用回復を早くするために、と前社長のコメントにもあるが、今後、サポーターや県民の信用を回復するためにクラブとしての姿勢は。(BSN 堀)**

こういう事態になって、信頼回復はそう簡単ではないと思っています。恐らく、時間がかかるのではないかと考えています。それは、今、私どもが向き合わせていただいている行政様、パートナー企業様、後援会の会員の皆様、ファン・サポーターの皆様、他のスポーツ団体の方も含めて、それぞれのお立場がありますので、何かをしたら、すぐ信用してもらえとか、何かをしたら「もういいよ。わかったよ」と言ってもらえるかというのが非常に難しいなかでクラブが存在していると思います。こういう状況になったら信頼回復ができるというのは我々が判断することではなく、向き合わせてもらっている方々が判断されることなので、私どもが、「もういいか」とかそういう判断、気持ちは永遠にもってはいけない。今回、起こしたことをずっと反省しながら

ら今後の活動につなげていかなければいけない事案だと思っています。そういうことを念頭に今後の活動をしていきたいと感じております。

**―是永前社長が辞任を表明したが、酒気帯び運転について知っていた玉乃 GM は今回の件を受けて何か言っていたか。今後の対応は。(TeNY 本間)**

前社長と GM は報告を受けてすぐに知っていた。そのレベル感は社長と玉乃 GM は同じだったのではないかと考えています。どちらかが違った判断をしていれば違った展開になっていたと思いますが、恐らく、こういう事態になったのも二人の認識のレベル感が一緒だったのではないかと考えています。だから、こういうことになったのだと思っています。

**―是永前社長が辞任したが、玉乃 GM も責任を負うようなことは言っていたか。クラブとして何か予定はあるか。(TeNY 本間)**

玉乃 GM と何日か前に話をしました。非常に反省していました。自分のミスを認めておりました。今後については、先ほどのチーム編成ではありませんけれども今日以降、どうするかを向き合っていきたいと思っています。非常に少数でやっている強化部ですので、彼が担っている業務内容は非常に重要な案件がたくさんありますし、そのへんの確認も進めながら今後の対応と GM に対する職責についても、これから作業分析と向き合ったなかで対応をとっていきたくて考えています。そのへんは取締役会でも質問ができました。私がこの職に就くにあたり、その対応については一任したいと、取締役会で意見を伺ってきたところでございます。

**―今のところ、本人から辞任するという言葉はないのか。(TeNY 本間)**

具体的には、まだありません。

**―新社長になってのサポーターへのコメントは。(TeNY 本間)**

2、3日言い続けるような想いはたくさんありますが、本当にたくさんのサポーターの方がいらっしゃいます。どんな時でも応援してくださって、新型ウイルス禍のなかでもスタジアムに足を運んでくださったり、スタジアムに来られない方でも、いろいろな方から声援をもらっています。今、この職に就く前に後援会の担当もさせてもらって、北は村上から南は糸魚川、能生まで会員様回りもさせていただきました。本当にみんな熱い想い、あるいは苦言も頂戴しながら。でもそういう方々と向き合っていく必要、重大さを改めて感じておりますので、オープンな組織にしていきたいと思っています。応援してくださる方には苦言でも応援のメッセージでもどちらでも、いろいろなことを共有できる関係性をこれからもお願いしたいと思っています。我々もオープンなスタンスで向き合わせていただきたいと思います。課題はファン・サポーター、関心のない人、アルビレックスに関心のない人にもっと関心を持ってもらうための努力もしていきたいと思っていますので、よろしくお祈りします。

**―10月19日の是永前社長の会見や今回の事案に対する経緯の説明をしたことについての選手やスタッフなどチームの反応は(新潟日報 紫竹)**



すみません。私も聖籠との距離感があったものですから、今の質問には答えることができる情報は持っていません。

—是永前社長でなければわからない部分があるというのはおっしゃる通りだと思うが、その中で今日の会見に、是永前社長自ら出席されてその思いを語るという選択肢もあったと思うが、今日中野社長が一人で出席されて会見している理由を（新潟日報 紫竹）

理由ですか。本人も前回反省しお詫び会見をさせていただいて、今回の辞任についてもそれ以外のことは思っていないし、言えないしと、だから辞表を出したのだと私は思っています。みなさんの前で、これからしたかったことや思いとかそういうことや、言いたいことはたくさん、本人は持っていたと思います。でも、それをしてはいけないという判断で、辞表を出されたと思っていますので、ここに来て何かを言うべきでもないし、言ったら何のための今回のけじめなのかと。彼は若いし、新潟でアルビレックスのために「あんなこともしたい」「こんなこともしたい」という夢や希望をいっぱい持っていたと思います。しかし、一つの判断ミスで、この職を辞さなければいけなかったということです。もう本人は、自分の猛省以外に何もない状態なのではないかと思っています。ですから、会見の場に出ていきたくないとか、釈明したりしたくないということではなくて、出てくるべきではない、だから辞表を出したということだと思っています。

—「出てくるべきではない」という判断に関しては、中野社長の判断か？是永前社長の判断か？（新潟日報 紫竹）

たぶん是永前社長はそう判断していると思います。私だったら出てこないです。本人がどう思っているかですが。みなさんと会話したくないという問題ではなくて、やはり今回辞表を出したという決意は、それなりの判断があったのではないかと思います。

—Jリーグからは隠蔽の意図があったかどうかをクラブに確認をしたいという報道があったが、その中でJリーグとクラブ間でどのようなやりとりがあったか（NST 飛田）

Jリーグから、今回の裁定委員会の開催の前に、担当者とWebでしたけどもヒアリングが行われました。Jリーグのほうから「いつ何時どうしていたのか」を聞かれ、そこに同席はしていませんでしたので、具体的なことは言えませんが、そのヒアリングの結果を受けて、さきほどJリーグが報告したような処分になっているわけですけども、そのヒアリングの時に、一貫して是永前社長は、隠蔽をするつもりはなかったし、隠蔽ではないと、そこは自信を持って、自信を持ってと言うか、Jリーグとそのような対応で向き合っていたということでもあります。

—12月31日に是永前社長が取締役を退任すると資料に記載されているが、その後は是永前社長はアルビレックス新潟に籍を置き続けるのか（UX新潟テレビ21 大角）

取締役として12月31日まで籍を置きますが、その日を持って取締役ではなくなります。アルビレックス新潟に籍を置くことはありません。

—12月31日以降の是永前社長はどのようなことをされるのか（UX新潟テレビ21 大角）

具体的には聞いておりませんが、彼はアルビレックス新潟シンガポールの組織の役職もありますので、私の知る限りではありませんけども、そちらのほうの業務に専念されるのではないかと考えております。

—アルビレックス新潟が今までにJリーグから懲罰を受けたことはあったか（新潟日報 山田）

私が担当したときはなかった。8年間なかったと思います。

※正しくは、罰金を伴う懲罰はなく、過去3度、けん責という懲罰がありました。

—明確に分かったら教えていただきたい。Jリーグからの懲罰に関する資料で、ゼネラルマネージャーおよび監督と社長の3人と共有ということで、玉乃GMについての説明をいただいたが、監督について処分は？（新潟日報 山田）

その情報は、酒気帯びで検挙されたと言いますか、共有したんですけども。罰を受けた指導・監督責任、そういうことをさせたという教育や選手の生活のところのケア、ピッチ外のことについて監督には業務として、クラブとしてあなたの業務範疇ですよというふうにはなっていないということなので、今回は監督にそういった指導なり処罰なりを与えるということはありません。

—もう1点。中野社長の推測だと、是永前社長はJリーグから懲罰が下るというのが大きくて、辞任を今日表明ということだった。今日、Jリーグから懲罰が下ることは、あらかじめご存じだったか（新潟日報 山田）

今の質問でちょっと違うのが、私の言い方が悪かったんですけども、懲罰の中身で判断ではなくて、懲罰が下るタイミングと併せたいということです。だから、事前にあったかということについては、事実だけを申しますと、私も過去に関係性があったものですから、中身ではなくてスケジュール感だけはありました。4日にJリーグで裁定委員会というものが開かれる、でもそこで答えが出るかは分かりません。そういう情報はいただいていた。

—では、是永前社長が辞任すると言ったのは、言い出したのは今日だったのか（新潟日報 山田）

辞任の意向は、今日は取締役会での提出であって、私が辞意を最終確認させてもらったのは、（11月）1日でございます。

—それを受けて、後任が中野社長になるという経緯について説明いただきたい(新潟日報 山田)

取締役会に聞いていただかないと。経緯は、取締役会で今日決めさせていただいたということです。それ以外、何ものでもないかなと。

—指名されたのか(新潟日報 山田)

推薦があって、決議をとということでございます。

—今ほど、是永前社長の辞意が1日に中野社長に伝えられたという話だったが、その時の想いや辞意の理由について、是永前社長から話があったか(新潟日報 紫竹)

彼が退任のコメントを書いた、同じことを言っていました。文字ではなくて言葉でありましたけれども、文字にさせてもらった想いを私には伝えてくれました。

—ちなみに場所は(新潟日報 紫竹)

場所は、1日というと試合の日(東京ヴェルディ戦)でございますので、ここ(デンカビッグスワンスタジアム)のどこかの1室で話をしました。

—試合の前後どちらですか(新潟日報 紫竹)

試合の前だったと思います。

—冒頭、中野社長から今は反省して振り返りつつ、悪いところを直していかないといけないという話だったが、そもそも体質として問題があったのか。Jリーグとの関係性を含めて、こういったことが起こる体質として何か問題があったのか、どのようにお考えか(NHK 本間)

体質的にはなかったと。ただ、おかげさまで数多い社員あるいはスタッフ、昔からいる方もいれば新しく入った方もいますし、そういった意味での体質というよりは、今後コミュニケーションを取る時間とか場所の必要性は感じております。体質的に何か問題があるとは、私もこちらにいて感じていませんし、そういうことではないと思っています。

—この問題を受けて、今後どのようなクラブにしたいか、具体的にどんなクラブを作っていきたいか(NHK 本間)

Jリーグチェアマン村井さんの言葉を借りると、組織、Jリーグ自体もフェアをモットーにして

おりますので、そこの傘下のクラブとして、チェアマンの標榜するオープンでフェアというこの2つの言葉を活動テーマの1つとして活動していきたいと思っております。ですから、理念だとか、「電気・ガス・水道・アルビレックス」だとか、私がいた時に掲げさせてもらったクラブ目標だとか、それぞれやっぱり言葉なり想いなり、代表者が変われば表現が変わるケースがありますが、私は一貫してこのアルビレックス新潟の歴史を踏まえて、やっぱり地域密着型の皆さんからつくっていただいた、皆さんと一緒にこれからも作らせてもらう。謙虚さの中でオープンでフェアで、それからもう1つ私が感じているのは、実はこれだけ大きなスタジアムをもらって、一番関心のあるクラブはどこかというところ、ドルトムントという世界で一番お客様が入るクラブ。ここがどういう経営をやっているかというところ、経営の細かいところではなくて、ベースにしているのがデジタルによる情報拡散・発信と、一方ではアナログによる地域の声、ステークホルダーの声を聞くというデジタルとアナログの融合というところを経営の骨子にしているという話を聞いたことがございます。一昨年、うちの社員3名ほどに視察に行ってもらいまして、そこにいろんな勉強をさせてもらってきたんですけども、この時代ですとデジタルでの情報のスピード感だとか、あるいは拡散の幅だとか、そういう時代でございます。一方、本当にFace to Faceで入ってくる情報だとか、そういうことも大切にしなければいけないと思っておりますので、そういう意味での経営の中で、基本はデジタルでもアナログであっても、村井チェアマンの仰ることがオープンでフェアというところが必要ではないかと思っております。

ーバルセロナから監督はじめスタッフを連れてきて、実績を出しつつある、結果を出しつつある状況だと思う。単年で終わるようなプロジェクトではないが、このプロジェクトを推進してきた是永前社長が辞任ということで、今後このプロジェクトそのものが、どういうふうになっていくのか。まずは今のチームに対する中野社長の評価をお伺いしたい（フリーランス 大中）

そこがこれから取り掛かるところでございます。正直に言って、そこから距離を置いていたものですから。それで今日の今日なので、チームのこと、今の監督のこと、そのプロジェクトのことを含めて。私は是永前社長がやってきたいものは継承すべきだし、継承していきたいという基本的な考えを持っていますが、具体的にどうするんだというところは、これから取り掛かせてください。

ー今回の社長交代に関して、中野社長がアルベルト監督と直接お話することもあったと思うが、その場でどういう反応を示されていたか。中野社長が監督にどういう事を伝えたのか（フリーランス 大中）

泣いているわけではないですが、涙が出てきましたので、すみません。その答えについても包み隠さずに言いますと、監督と会話をしたのが今日で2度目でございます。具体的な会話は挨拶だけで。すみません、言葉が通じないものですから。それで近々、じっくり話しましょうということです。それが明日なのか明後日なのか、試合の後なのか、話そうと思っております。

―是永前社長からいいものは継承したいという話があったが、現時点で中野社長がいいものにとらえているものは（新潟日報 紫竹）

社内的には情報伝達の共有手段、それから組織の垣根を超えた情報共有がされております。ペーパーレスも含めて。そういうところは社内のこれからの発想の中にも活かしていきたいと思えます。もう1つはメソッド、育成のプロジェクトを始めて2年目になります。ここの継承はやっていきたいと思えます。その中身も精通していない部分がありますので、その中身も入り込みながら、継承していくべきものは継承していきたいと考えております。

―先ほど仰ったいいものという中には、チーム編成とは別の話ということか（新潟日報 紫竹）

そうですね。非常に難しい世界なんだろうということは覚悟しています。

―是永前社長が就任してから、クラブ内の人事、メンバー構成が変わったと思う。中野社長が感じる社内の空気感の変化はあったか。過去と是永前社長が就任して以降の社内の雰囲気について（新潟日報 山田）

どうなのでしょう。新しい体制、年度も考え方も違うので、バイタリティーと若さと情熱で会社全体を引っ張ってくれている。私は日陰にいたものですから。そういうふう感じておりました。

―取締役会について。道交法違反の発表が遅れたことと、誤解を招くようなリリースが出たことについて、どういう受け止めがあったのか（新潟日報 紫竹）

前回の取締役会でそういう状況が報告されました。今回の取締役会では、Jリーグの裁定が出たという報告がありましたが、今の質問の案件は前回の取締役会で報告があり、取締役の方々からいろんな意見が出て、それをベースに前回の記者会見に是永前社長が臨んだということです。

―どんな意見があったか（新潟日報 紫竹）

何でと、普通だったらという、その辺の判断ミスと前社長も認識しているというご意見はありました。

―今後、是永前社長が記者会見やサポーターの前で挨拶する予定はないか（新潟日報 山田）

今日の今日なので、そこの確認は特にしていません。

―就任の挨拶は今後ある予定か（新潟日報 山田）

ここの対応ばかりしか考えていなかったの、すみません。今のところ考えていませんが、いろんな方にご挨拶回りだとか。セレモニー的にここで何か言った方がいいかというのは、皆さんからアドバイスをいただいて、いい形があれば教えてもらいたいですけども。何を優先かという、私が云々というよりは、チームが残り 11 試合を充実した練習に取り組んで、試合に臨むか。ここを落ち着かせて、山形戦にはああいうふうにして、明後日ここで試合があります、また次も試合があります。彼らが集中している状態を壊したくないので、今回の人事の案件も彼らにとって本当はない方がよかったです。それが現実なので、それは報告しますし、行って説明しますけども、本当は彼らに集中させてこのまま最後まで行って、我々が望んでいる結果を出してくれればというのを考えるのが優先かと思っています。

—今朝、中野社長と是永前社長が説明したとき、是永前社長からどんな発言があったのか、様子について（新潟日報 山田）

Jリーグからの裁定が出て罰金 300 万円ということと、辞表を出したということと、後任は私。この 3 つの事実関係だけの説明でした。

—様子は（新潟日報 山田）

先ほど言ったように、監督は是永前社長のおかげで今日があるという話をしていましたし、選手との会話はありませんでした。コメントとか声は聞きもしませんでしたし、練習前だったので。先ほど言ったポーカークフェイスで選手はいらっしやいました。

—社長自身、沈んでいるとかそういう様子を感じたか（新潟日報 山田）

是永前社長しか精神状態は分かりませんが、泣いたり笑ったり喜怒哀楽を表現するような状況ではなく、とにかく事実関係を伝えて、チームには集中してもらいたいという配慮から、特に喜怒哀楽を表現するような状況ではありませんでした。

—今日の取締役会について。是永社長の辞任の申し出について受け止めや意見は（新潟日報 紫竹）

会社として、取締役社長の辞任を受理する、しないの問題ではありません。そこで執行されるものなので、そういうルールが分かる方々の集まりでした。解任については決議が必要ですが、辞任なので提出し受理した時点で執行されるということが分かった方々の会議体でした。

—辞任を求める声は以前からあったのか（新潟日報 紫竹）

ありません。

－ Jリーグからの懲罰が決まったのは何日か（朝日新聞 小川）

本日に通達がありました。

－ 罰金の納付期限は（朝日新聞 小川）

請求が出てからのルールはあるが、経験がないため分かりません。

※2020年12月5日が振り込み期限であると確認ができました。

－ 来季の編成や経営に関するスケジュール感覚は（新潟日報 紫竹）

予想外のことなので、正確に申し上げることはできません。しかし、業界に携わっていたため、そういう時期であるというイメージはできますが、特に今年はウイルスの関係で12月20日まで試合があります。アウォーズは開かれないうとしても、ルヴァンカップ（の決勝）が中止になり、代替日程が年内なのか開催できるのかできないのかで、リーグは対応に追われていると思います。私たちクラブのスケジュールとしては、期限までやらなければいけないことがあり、選手情報が動く時期であるのは事実です。明日以降、速やかにしなければならぬことをタイムリーに対応していきたいと、申し上げるしかありません。

※質問者の敬称は省略させていただきました。

株式会社アルビレックス新潟 広報部